

国際ロータリー 第2500地区 第4分區
遠軽ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF ENGARU, AREA 4, RID2500

第2971回例会記録

日時: 2020年 8月27日(木)12:30~

会場: ホテルサンシャイン 2F

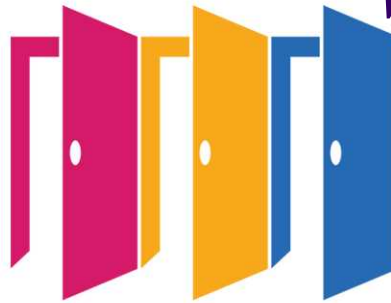
司会: 乾 淳 S A A

★開会点鐘: 島田 光隆 会長

★国歌: -

★Rソング: それこそロータリー

★四つのテスト: -



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021 Weekly Report No. 7

本日のプログラム

2020年 9月 3日(木) 12:30~

職場訪問例会
道の駅遠軽森のオホーツク

次のプログラム

2020年 9月10日(木) 12:00~

ガバナー公式訪問例会
会長幹事懇談会・記念撮影

島田光隆会長ターゲット: 地域と共に頑張りましょう

◇本日のゲスト

遠軽町地域おこし協力隊 岡崎 璃菜子 様①

会長報告 島田 光隆 会長②

皆さん、こんにちは。本日は「アニサキス症」についてお話させていただきます。只今、ホテルサンシャイン様の豪華な昼食をおいしくいただきごちそうさまでした。生ものがなかったので安心してアニサキスのお話をさせていただきます。

アニサキスというのは魚介類に寄生する寄生虫の一種でお刺身やお寿司を食べた際、一緒におなかの中に入りアレルギー症状を発症させる厄介な生き物です。太さは0.5ミリから1ミリ弱、長さが2~3センチで半透明の白い太い糸のように見え渦巻き状となっているものもあります

私は先日旭川のそば店で昼食を取ったのですが、食べた刺身のなかにアニサキスが入っていたものと思われます。刺身はマグロ、ホタテ、イサキの昆布締めでしたが、イサキの刺身が少し厚めに切っており歯ごたえがしっかりしておりました。普通、白身魚は寄生虫が居ても分かるよう薄めに切のですがその時は随分と厚く切っており違和感があったのを鮮明に覚えております。

翌朝5時頃、おなかが痛くて目が覚めました。特にみぞおちに強い痛みを感じ居ても立っても居られない状況で朝も昼も何も食べられず、夜になっておかゆを少し頂きました。おなかに何か入ると少し痛みが治まる感じもありましたが、次の日の朝もみぞおちのところが痛く、ネットで調べ「アニサキス症」に間違いないと確信しました。

次の日、遠軽厚生病院で胃カメラを飲んだところ胃壁にアニサキスが一匹張り付いており鉗子で除去していただきましたが、その時まで生存しておりとても生命力の強い寄生虫であると感じました。基本的に人間の体内では生息できないそうですが稀に胃や腸を突き破って別の部位へ寄生することもあるそうなので十分注意が必要です。

三日間とても痛い思いをしましたが、手術に該当するという事で生命保険の手術給付金の対象となり、少しですが保険金をいただくことができました。皆さんも生魚にはくれぐれも注意してください。



幹事報告 高井 一博 幹事

- 9月10日、ガバナー公式訪問例会について
松田英郎ガバナー(富良野RC)、藤田礼三第4分區ガバナー補佐(遠軽RC)、浜崎誠地区副幹事他1名(富良野RC)、計4名が来訪予定。
・11:20: 会長幹事懇談会: 松田英郎ガバナー、藤田ガバナー補佐、島田会長、高井幹事
・11:50: 記念撮影(ネクタイ着用)*時間厳守
・12:00: 公式訪問例会
※当日例会欠席者は9月3日(木)まで連絡を。
- 当クラブ例会開催3,000回目が現ロータリー年度に達成予定(2021年4月1日)。このメモリアル例会を迎えるにあたって何かご提案等ありましたら理事・役員まで随時ご連絡下さい。
- 本日例会終了後、理事会を開催いたします。

本日のプログラム ゲスト卓話

本間 克明 プログラム委員長

本日のゲストスピーカーであります岡崎様は昨年9月に丸瀬布総合支所産業課に着任され、地域の観光振興等にご活躍されている方です。

彼女は和歌山市出身で高校時代にスウェーデンへ留学経験がありますが、その際、和歌山のRCを通して国際ロータリー交換留学プログラムにお世話になったとお聴きしたことから卓話をお願いしました。詳しいプロフィールについては、お手元の資料をご覧ください。彼女は国際色豊かな環境で育ち、4カ国語をマスターしている方です。

【名前等後の○数字は写真の中の番号】

国際ロータリー青少年交換留学プログラムと地域おこし協力隊について

遠軽町地域おこし協力隊 岡崎 璃菜子 様①

2019年9月1日、遠軽町丸瀬布総合支所産業課に地域おこし協力隊として着任。

2009年、高校2年時に国際ロータリー青少年交換留学プログラムを通して1年間スウェーデンへ派遣された。語学だけでなく、異文化理解、平和学習など様々な使命を担っているため交換留学生ではなく「小さな親善大使」と呼ばれる。その時の経験等を話したい。

○ロータリージャケット (スライドで説明)

- ・ 青少年交換留学プログラムの派遣生の目印
- ・ 例会はもちろん、到着後の空港でも着用が義務付けられている (ホストRCのメンバーが分かりやすいよう)
- ・ 派遣先の他国の派遣生と名刺とピンバッチの交換をする。このため1年後にはジャケットがピンバッチだらけになる

○スウェーデン南部スモランド地方にあるベクショーへ派遣され、ホストRCはメンバー約20人のベクショーRC (派遣生受け入れは約20年振り)。必ず例会へ参加 (2週間に1回の頻度)。

ベクショーは人口5万人 (2010年時) 程。環境先進都市であり、国内では「ガラスの王国」と呼ばれていた。また、植物学の父として知られる「カール・フォン・リンネ」生誕の地。

○スウェーデンでの1年

ホームシック、カルチャーショック、言葉が理解できないなどで最初は辛かった。RCやホストファミリー、現地の友達や高校の先生などの手厚いサポートのおかげで辛かった生活も楽しくなった。このプログラムを通じて、異文化や「違い」を受け入れる姿勢、理解するのも大切だがまずは受け入れよう、知ろうとする姿勢が大切だとわかった。

○人との輪の広がり

何年たっても娘のように受け入れてくれるホストファミリーとRCとの出会い。また、スウェーデン以外の国からの派遣生とも仲良くなれる。

ロータリーのシンボルである歯車の意味を同クラブは次のように解釈していました。

「歯車の周りを手をつないで助け合って回っている。誰かが手を離してしまうとそれは回ら



なくなってしまう。それが今の世界であり、ロータリークラブの役割は欠けたところにもう一人、人を入れて仲を取り持つことだ」と。

私は一年後にその意味を理解した。ロータリーで留学したからこそ国際交流で一番大切なことを教えてもらった。

○遠軽へ来たきっかけ

2年前に訪れた白滝での犬ぞりがきっかけ。雪景色があまりにも北欧に似ており感動した。

スウェーデンで経験してきたこと、見てきたものをここ (遠軽地域) で何かに活かせるかもしれないと思っている。

○協力隊としての活動

「いこいの森」中心の観光企画。去年の冬に「ウィンターキャンプ」を実施【写真】、14名が参加。当日は流水着岸日に当たり、-30℃を記録し過酷と言っても過言ではなかった。

その時スウェーデン式焚火コーヒーを実施。

○これからの活動

自分の経験を活かし、北欧と北海道を味わうことが出来る体験型イベント (例: ザリガニパーティー、冬キャンプ、防災キャンプ、森の学校、焚火カフェなどをやっていきたい)。

○遠軽町のお土産品や特産品の開発

今は樹液シロップや白樺樹液、ジュンペリーのコンフィチュールなどを試作。オホーツクの食材を使い期間限定で北欧料理を提供したい。

ニコニコBOX 高橋 義昭 親睦活動委員長

島田光隆君 初孫の誕生 10,000円

2020-21年度合計124,000円

☆閉会点鐘: 島田光隆会長 ☆今月会報担当: 山田荘一委員

2020-21_7th-02

出席報告		例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席	編集・発行: メディア委員会	
須藤順一 出席委員長		8月20日	44	41	25	2	65.9%		委員長: 加藤幸徳	副委員長: 山田荘一
		8月27日	44	40	30		75.0%		委員: 吉川 紘 棚橋 忠 張江紀代美 東海林勉 黒坂貴行	

2020-2021年度 国際ロータリー

会長: ホルガー・クナーク(ドイツ)

第2500地区ガバナー 松田 英郎(富良野RC)

第4分区分ガバナー補佐 藤田 礼三(遠軽RC)

遠軽ロータリークラブ www.engaru-rc.com

会長: 島田光隆 副会長: 渡辺政俊

会長エレクト: 本間克明 幹事: 高井一博

会計: 木村一則 SAA: 乾 淳

直前会長: 渡辺 勉 事務局員: 岡本奈津美

◇1959年9月12日創立/1959年11月7日認証

【事務局】〒099-0415 北海道紋別郡遠軽町岩見通南2丁目 遠軽商工会議所内

Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail: info@engaru-rc.com

【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-

42-1151 毎週木曜日12:30~13:30 *第3木曜日は夜間例会 18:00~(19:00)

